



★★★★★ 倉吉パークスクエア 4月の催し物 ピックアップ ★★★★★

倉吉未来中心 (TEL23-5390/FAX47-0255)、倉吉交流プラザ (TEL47-1181/FAX47-1180)

倉吉未来中心 大ホール

- あおい輝彦オンステージ ぼくたちの流行歌 (はやりうた)
と き: 4月6日(金) 19:00~21:00
- 春まつり 中部芸能総大会「さようなら大会」
と き: 4月8日(日) 11:00~16:00
- 演歌! 夢のヒットパレード
と き: 4月13日(金) 12:00~14:00

倉吉未来中心 小ホール

- みんなのバリアフリーコンサート in くらよし
特別チャリティーコンサート「齋藤友紀フルートコンサート」
と き: 4月15日(土) 14:00~15:00
- 鳥取県アマチュア地域協会 親睦ダンスパーティ
と き: 4月29日(日・祝) 13:30~16:00
- アンサンブル・ミカニエ×合唱団こさじ

ジョイント・コンサート

- と き: 4月30日(月・祝) 13:30~15:30
- 倉吉北高校 吹奏楽・合唱部 定期演奏会
と き: 5月4日(金・祝) 14:00~16:00

倉吉未来中心 アトリウム

- 春まつり 諸流華道会 いけばな展
と き: 4月7日(土)~8日(日)
9:00(初日)~16:00(最終日)
- 第7回春季富貴蘭展示会
と き: 5月3日(木・祝)~4日(金・祝)
9:00(初日)~16:00(最終日)

ふれあい広場

- フリーマーケット「くらよし大市」
と き: 4月29日(日・祝) 9:00~12:00

展覧会・展示会

《百花堂》 ■ 一美会 4日
■ 第7回五彩会展 6日~11日
■ PT写真友会展 13日~18日
■ 「新協」倉吉のふたり絵画展 藍展 20日~25日
■ 因伯と展 27日~5月2日

《リフレプラザ倉吉》 ■ リフレ・ミニ・ギャラリイ 2周年記念展 15日~29日 ■ 企画展・計羽孝之写真展「オペラの魅力」5月1日~13日

スポーツ

《市営ラグビー場》 ■ 中国高校ラグビー鳥取県予選大会 15日・22日

《市営武道館》 ■ 中部地区春季柔道大会 15日 ■ 第90回鎮靈神社奉納剣道大会 15日 ■ 中国高校柔道大会鳥取県予選大会 21日・22日

《市営体育センター》 ■ 第1回倉吉市高校生バドミントン選手権大会 14日

《市営相撲広場》 ■ 第34回櫻杯争奪相撲選手権大会 22日

《市営野球場》 ■ 第67回国民体育大会軟式野球競技大会・開幕式 1日・22日 ■ 鳥取県還暦軟式野球県大会 8日 ■ 倉吉市スポーツ少年団軟式野球交流会 15日 ■ 春季鳥取県高等学校野球大会 27日~5月3日

《関金農林漁業者等健康増進施設》 ■ 倉吉市スポーツ少年団バレーボール交流会 29日

《市営関金野球場》 ■ 高松宮賜杯第56回全日本軟式野球大会 1日・15日 ■ 第67回国民体育大会軟式野球競技大会 8日 ■ 倉吉市スポーツ少年団軟式野球交流会 14日 ■ 春季鳥取県高等学校野球大会 27日~30日

LISIL
リシル

カット ¥4,000
カラー ¥5,000~
パーマ ¥6,000~

『市報を見た!』で
20%OFF!
(5月末まで)

TEL 0858-24-5302 (10:00~19:30)
毎週月曜日/第2・4火曜日休
〒682-0806 倉吉市昭和町1-201

★詳しくは、お気軽にお問い合わせください★

楽(6)社交ダンス

松田ジュリア
ダンスステージ

初めての方、年配の方が対象!!
①月曜日 18:00~20:00 団体レッスン
②木曜日 18:00~20:00 団体レッスン
③日曜日 13:00~15:00 団体レッスン

リフレプラザ 軽運動室
レッスン料: 2,000円/1回

講師: 松田ジュリア
ダンスパーティ

どなたでもどうぞ!
他教室の方もどうぞ!
男性、女性、年配の方どうぞ!

毎月第1日曜日 14:00~17:00
倉吉未来中心 リハーサル室
レッスン料: 1,000円/1回 (茶菓子付)

心と体が元気になるよう、ダンスでお手伝します。

TEL 080-2898-1221

(TEL) 22-18161 / (FAX) 22-18144
広告専属!! 倉吉市総合政策課

市立図書館

倉吉市立図書館 ☎ 47-1183 / ☎ 47-1180
せきがね図書館 ☎ / ☎ 45-2523

今月のオススメ本

「傷痕」

桜庭 一樹 / 著 (講談社)

突然この世を去ったスーパースターが残した愛娘「傷痕」をめぐり、大人たちの欲望と思惑が交錯する。最愛の人を失い傷ついた少女の悲しみと回復、そして再生を描き出す。



「おなかのなかの、なかのなか」

あさの ますみ / ぶん
長谷川 義史 / え (学研教育出版)

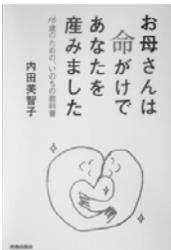
ネズミのチュッチは、食べても食べてもはらぺこのまま。ごちそうを探しに出かけると、ネコに食べられてしまい…。



「お母さんは命がけであなたを産みました」

内田 美智子 / 著 (青春出版社)

いただきたいのち、つないでいくのち、どう生きていきますか？ いのちの現場に立ち会う助産師が、全世代に向けて伝える「いのち」と「性」へのメッセージ。



「ウサギのトトのたからもの」

ヘルメ・ハイネ / 作 (徳間書店)

ウサギのトトの夢は「たからもの」を見つけること。シャベルをかついで広い世の中へ出て行き、いろいろな仕事をしました。トトが見つけた「たからもの」とは？



今月の催し物

法テラス無料法律相談会

と き：4月15日(日)午前10時～正午
ところ：倉吉交流プラザ 第1研修室

☎ 法テラス鳥取 (☎ 050-3383-5495) ※ 要事前予約

4月の開館日 カレンダー							
日	月	火	水	木	金	土	日
①	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	⑪	12	13	14	
⑮	16	17	18	19	20	⑳	
㉒	23	24	㉕	26	27	28	
29	30						

2、9、16、23日は休館日
26日は資料整理休館日
○おはなしかい(14:00～) ☎
◇あかちゃんのおはなしかい(11:00～) ☎
□むかし話をきく会(14:00～) ☎
△おはなしかい(10:30～) 関

お知らせ～自習室について～ これまで自習室として活用していた倉吉交流プラザ市民交流室(2階)は、4月から鳥取県中部消費生活相談室と倉吉地区少年補導センターになりました。今後は、使用のない場合に限り、第1研修室を自習室として開放します。利用の可否や時間帯は図書館入口横の電光掲示板に表示します。

倉吉博物館

☎ 22-4409 / ☎ 22-4415

自然ウォッチング

～平成24年度年間計画～

日	時	内容	活動場所
6月 2日 ㊥	9:00～	野いちごを探そう	浅井溪谷 (関金町山口)
7月 28日 ㊥	20:00～	セミの羽化をみよう	打吹公園
8月 15日 ㊥	20:00～	天の川と夏の星座をみよう	博物館裏駐車場
9月 1日 ㊥	9:30～	魚を調べよう	下余戸の小川
10月 6日 ㊥	9:00～	秋の木の実を探そう	大日山(上余戸)
10月 20日 ㊥	19:30～	月と秋の星座をみよう	博物館裏駐車場
11月 11日 ㊥	10:00～	天神川のサケをみよう	天神川河川敷
1月 14日 ㊥	9:00～	小鴨川の水鳥をみよう	小鴨川河川敷
2月 23日 ㊥	13:30～	木の芽から春をみつけよう	打吹山

※ 4月の自然ウォッチングは右欄です。

自然ウォッチング「春の植物を調べよう」

なだらかな山道を歩きながら、春の植物を観察します。動きやすい服装で参加してください。

と き：4月8日(日)午前9時～

ところ：伯耆しあわせの郷周辺

集合場所：伯耆しあわせの郷駐車場

※植物の試食は行いません。

自然ウォッチング「月と火星と春の星座をみよう」

月のクレーターや火星などを天体望遠鏡で観察します。暖かい服装で参加してください。

と き：4月28日(土)午後7時30分～

ところ：倉吉博物館裏 駐車場

※雨天・曇天時は翌日29日(日・祝)に順延します。

展覧会・催し ※考古・歴史民俗資料館常設展も開催

【伯耆しあわせの郷 織物教室 20周年展】

会 期：4月8日(日)まで

【特別展「片岡鶴太郎展 艶葉樹」】

会 期：4月14日(土)～5月13日(日)

今月の休館日のお知らせ

4月2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)



母なる川の豊かな恵みを守りたい

天神川漁業協同組合 山崎 賀津雄さん(写真中央)

米原 稔さん(写真右)

中村 建一さん(写真左)

天神川は、その源を三朝町の津黒山に発し、国府川や小鴨川など、いくつかの支流を合わせながら倉吉を縦断して北に向かい、日本海に注いでいます。まさに倉吉の自然を育み、歴史や社会経済を支えてきた母なる川といえます。

今回は、天神川を愛し、今もその恵みを大切にしたい天神川漁業協同組合の皆さんに話を聞きました。



十種類もの魚がいて、毎日山のよりに捕っても、お客さんがアツという間に買ってしまった。川魚漁に活気がある時代だった」と懐かしそうに話します。

幼いころから、毎日のように天神川に釣り糸を垂らしているという米原稔さんも、「昔は、夏になると天神川の川面がアユで真っ黒になった」と言います。

やはり毎日のように投網漁に出るといふ中村建一さんも「昭和30年代までは、川の中にタモ(網)を突っ込めば、アユやウグイがたくさん捕れた。晩ご飯のおかずには苦勞せんかった」とユーモアたっぷりに話してくれました。

昭和の中ごろまで、天神川では子どもたちが魚捕りや川遊びに興じ、川魚漁も盛んに行われ、その豊かな恵みを住民は存分に享受していました。

しかし、昭和40年代、日本経済が高度成長期を迎えた陰で、工業用排水や生活排水による河川の水質汚染が全国で進みました。天神川も魚のいない、人間も川遊びなどできない環境に変わってしまった。また、サケやアユの乱獲も行われて、数が激減してしまつたといひます。

「もう一度、豊かで美しい天神川を取り戻したい」環境破壊に対する危機感が高ま

り、保全に向かい始めた社会の流れに乗って、天神川漁協も昭和52年から、サケやアユの放流事業を始めました。今年も3月11日(日)に、地元の子どもたちとサケの稚魚10万匹を放流したばかりです。

天神川では、5年前から秋に採捕したアユから採卵、ふ化した稚魚を放流して、生粋の「天神川つ子」になります。これは、琵琶湖のアユを放流する河川が多い中で全国的にも珍しい取り組みです。

そうした事業が実を結び、放流魚をはじめ、天神川に魚が少しずつ戻ってきました。しかし、近年、また姿を消した魚も少なくないといひ3人は言います。5年前は約700匹を確認したサケも、昨年は200匹ほどだったそうです。

「川がきれいになつたと言つても、コンクリートなどで固める河川整備は魚にとつてすみづらく、生態系が崩れるということもある。難しい問題だけど、おつた魚がおらんようになるのは、やっぱり何かが変なんだと思う」と米原さんは懸念します。

中村さんは「放流や河川の清掃など、漁協の活動に取り組むのは、やっぱり、豊かできれいな天神川を子や孫に残したいから。今津の堰堤(厳城)なんかで、懸命に遡上するサケやアユの姿は本当にきれいで愛しいと思う。今の時代、川



毎年行われる「天神川のサケをみよう」

人類の文明は河川の流域から生まれました。川を愛し、大切にしたい。豊かな文化を育てます。天神川は、私たちにとつて、今もなくてはならない大切な川です。豊かで美しい姿をいつまでも守りたいと改めて感じました。

編集後記

■天神川漁協の皆さんの目下の悩みは、「ブラックバスやブルーギルなど外来魚が増えたこと」。最近若者などの間で人気のルアー釣り用として人為的に放流されたものと思われる。生命力の強い外来魚のむやみな放流は、川や湖沼の本来の生態系を壊し、根絶やしにしてしまう恐れがあると、法的にも規制されているそうです。何事もルールを守って楽しみましょう(Y.T)

- 倉吉市の人口(基本台帳)
 - 23,751人(- 12) 男
 - 26,466人(+ 8) 女
 - 50,217人(- 4) 計
 - 20,452世帯(± 0)
- 外国人登録者数
 - 70人(± 0) 男
 - 167人(± 0) 女
 - 237人(± 0) 計
 - 199世帯(± 0)
 - (H24.2.29現在)

